

(別紙様式1)

令和2年度の目標及びその達成に向けた活動計画

都道府県名：福島県
農業委員会名：湯川村

I 農業委員会の状況(令和2年6月30日現在)

1 農家・農地等の概要

	農家数(戸)
総農家数	424
自給的農家数	82
販売農家数	342
主業農家数	67
準主業農家数	95
副業的農家数	180

※ 農林業センサスに基づいて記入。

	農業者数(人)
農業就業者数	486
女性	223
40代以下	16

※ 農林業センサスに基づいて記入。

	経営数(経営)
認定農業者	111
基本構想水準到達者	6
認定新規就農者	1
農業参入法人	2
集落営農経営	10
特定農業団体	1
集落営農組織	9

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑	普通畑	樹園地	牧草畑	計
耕地面積	1,010	93				1,103
経営耕地面積	965	62	49	1	1	1,027
遊休農地面積		0				
農地台帳面積	994	94	94			1,088

- ※1 耕地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入
※2 経営耕地面積は、農林業センサスに基づいて記入
※3 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 農業委員会の現在の体制

旧制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 H 年 月 日

	選挙委員		選任委員					合計
	定数	実数	農協推薦	共済推薦	土地改良推薦	議会推薦	計	
農業委員数								
認定農業者								
女性								
40代以下								

新制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 R 2年 7月 19日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	8	8
認定農業者	—	5
認定農業者に準ずる者	—	1
女性	—	1
40代以下	—	
中立委員	—	1

	定数	実数	地区数
農地利用最適化推進委員	7	7	7

*現在の体制を記載することとし、旧・新しいいずれかの記載事項は削除

Ⅱ 担い手への農地の利用集積・集約化

1 現状及び課題

現 状 (令和2年3月現在)	管内の農地面積	これまでの集積面積	集積率
	1,100ha	756.7ha	68.79%
課 題	農業従事者の高齢化が進む中、大型農機具を所有していることもあり維持している農家も多い。担い手農家の更なる高齢化や後継者不足等で農業の衰退に繋がらないようにすることが課題である。		

- ※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入
※2 これまでの集積面積は、把握時点において担い手(認定農業者及び農業委員会法施行規則第10条で定める者)へ利用集積されている農地の総面積を記入

2 令和2年度の目標及び活動計画

目 標	集積面積 777ha (うち新規集積面積 21ha)
	目標設定の考え方:過去3年間の実績をベースに目標設定。
活動計画	・担い手への農地利用集積に向けた斡旋。 ・農地中間管理事業の制度説明会の実施。 ・広報誌等を活用し、農業経営基盤強化促進法による利用権設定の制度等の周知。

- ※1 集積面積は、当該年度末時点で担い手へ利用集積されている農地の総面積を記入
※2 新規集積面積は、集積面積のうち1年間に新規集積面積(非担い手が自作又は利用していた農地のうち、担い手に対して権利の設定・移転させた農地)をどの程度増加させるかを記入
※3 活動計画は、目標の達成のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入

Ⅲ 新たな農業経営を営もうとする者の参入促進

1 現状及び課題

新規参入の状況	29年度新規参入者数	30年度新規参入者数	31年度新規参入者数
	0経営体	0経営体	0経営体
	29年度新規参入者が取得した農地面積	30年度新規参入者が取得した農地面積	31年度新規参入者が取得した農地面積
	0ha	0ha	0ha
課 題	新規参入者がいない状況であり、新規就農支援の補助等を周知すると共に、昨年度に引き続き掘り起しが必要である。		

- ※1 新規参入者数は、過去3年の農地の権利移動を伴う各年度ごとの新たな新規参入数を記入し、法人雇用や親元就農は含まない(欄の最も右が昨年度)
※2 新規参入者が取得した農地面積は、上段で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

2 令和2年度の目標及び活動計画

参入目標数	0経営体	参入目標面積	0ha
活動計画	新規就農者の把握と新規就農者に対する補助金等の周知徹底を図る。		

- ※1 目標は、1年間に新たに参入させる新規参入者数及び参入目標面積を記入
※2 活動計画は、目標の達成のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入

IV 遊休農地に関する措置

1 現状及び課題

現 状 (令和2年3月現在)	管内の農地面積(A)	遊休農地面積(B)	割合(B/A×100)
	1,100ha	0ha	%
課 題	農業従事者の高齢化に伴い、耕作放棄地の増加が懸念される。早期対応により耕作放棄地にならないように指導すると共に、農地中間管理機構等への斡旋を行う。		

- ※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積と農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した同法第32条第1項第1号の遊休農地の合計面積を記入
- ※2 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 令和2年度の目標及び活動計画

目 標		遊休農地の解消面積 0ha			
		目標設定の考え方:現状維持に努める。			
活動計画	農地の利用状況調査	調査員数(実数)		調査実施時期	調査結果取りまとめ時期
		18人		8月～9月	9月～10月
		調査方法	広報誌を活用し啓発を行う。農業委員及び農地利用最適化推進委員による担当地区の随時見回りを実施。農業委員会による村内全域の農地パトロールを8月に実施する。		
	農地の利用意向調査	実施時期		調査結果取りまとめ時期	
		10月～12月		1月～2月	
	その他	農業委員及び農地利用最適化推進委員による日常的な監視活動を実施する。			

- ※1 遊休農地の解消面積は、当該年度末時点の遊休農地の解消面積を記入
- ※2 遊休農地の解消面積は、市町村等が策定した目標を農業委員会が共有している場合には、当該市町村等の目標を記入しても差し支えない
- ※3 「その他」欄には、利用状況調査・意向調査以外の遊休農地解消のための活動を記入

V 違反転用への適正な対応

1 現状及び課題

現 状 (令和2年3月現在)	管内の農地面積(A)	違反転用面積(B)
	1,100ha	0ha
課 題	現在、違反転用は確認されていないが、違反転用の恐れのある農地について把握し重点的に監視活動を実施する。	

- ※ 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入
- ※ 違反転用面積は、把握時点において管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定等に違反して転用されている農地の総面積を記入

2 令和2年度の活動計画

活動計画	農業委員及び農地利用最適化推進委員による地区担当の見回りを随時実施し、8月の農地パトロールで更に現地確認を行い指導する。
------	--

- ※ 活動計画は、違反転用の解消や早期発見・未然防止のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入